

土木主任官會議を覗いて

路 政 僧

政友會内閣が看板にしてゐた産業土木計畫が漸く實現するやうに爲つて、五千三百萬圓の大豫算を達摩藏相の懐から奪つて來た、之で道路や河川港灣の土木事業を興して産業の振興を圖ろうとするのであるが、臨時議會終了後に地方と相談してゐては間に合はないと言ふので、五月十八日から地方土木主任官を招集して會議された。

いつもの主任官會議は内務省會議室に府縣主任官の全部を集合して開かれ、議長―私は××縣です。と言つた調子で、いと六ヶ敷そうに議するのであるが、新湯澤土木局長は會議の形式に捉はれないで實を擧げたいと言ふ、其の持ち前の個性を發揮したものか、東北、關東、中國……と云ふ様に一日に七八府縣の主任官を集めて會議した、で會議

は四日間も繼續されたが、成る程此方法は主任官のメンタルテストに都合が良い、形式的の會議を開けば議場の一隅に居眠つて會議中に一言も吐かない狡猾な連中も、此小數者の會合では夫れが出来ない、昔、安達内相が地方長官を招集して一々接見したと同じで、意見を徵せらるゝ方は少々痛い、徵する方は人の眞想を掴み得て利巧な遣り方だ。

會議は毎日午前八時と決定され、異常の緊張振りだつたが、例に依つて遅刻する連中が頗る多い、土木局員でも睡氣で圓タクの厄介に爲つて列席した連中も尠くないと言ふ調子。

ドーモ大縣の主任官や夫れに爲らうとする人々は遅れて困る、今日は會議を始めた、出直して明日は定刻に來て呉

れ給へ。

湯澤局長の此一言には―落第したナ―と腰を抜かすもあれば少々横着なのになると、毎年の會議ではいつも待たされ勝ちだから同じことかと推察して來ました。と抗辯するもある。腰拔連中には今言つたのは嘘だよ、折角來たのだから聞いて呉れ給へ。と。聞かされてホツト一息したのもあつたやうだ。局長はいつも乗物に乗れば居眠つてゐるから家庭内の睡眠時間が少くつても可いだらうが吾々のやうに眠附きの悪いものはそう都合よく出來て居ない、と、零してゐたものもあつたらしい。

○
産業土木計畫の概要が話された、事業費五千二百九十五萬六千圓を以て土木事業を興し、千四百八十二萬七千三百圓を治水事業に充て、五百六十六萬六千圓を港灣の改良に充て、三千二百四十六萬三千五百圓を道路の改良に充てるのであつて、之を若槻内閣が其の末期に於て失業救済土木事業として計畫した事業費四千八百萬圓に比較すると、約

五百萬圓程増加してゐる。此事業に依つて國庫が負擔する額に就て見ると、河川關係が九百五萬八千圓、港灣關係三百三萬六千圓、道路關係千六百二十八萬四千圓であつて、若槻内閣の決定したものよりも四百七十八萬七千圓殖えてゐる、此大事業を此後十箇月間に完全に執行する爲には、主任官各位の努力に俟つものが多いから格段の奮闘を望む。と訓示された。併し右の金額は府縣に配分されて工事を府縣が執行するものと早合點した連中は、後から内務省の直轄施行する土木事業費も包含されてゐることが判つて、ナインダイ俺等に貰ふのでは無かつたかと、狐に撮まれたやうな顔も見うけられた。

湯澤局長は、國費負擔額を根據にして今回の計畫が、中央に集中する財源を地方に還元する考察が多分に包含されてゐることを説明し、河川や港灣乃至直轄道路は場所的關係を持つ爲に地方に其の豫算を均等に配分することを許されないが、其の豫算の配分を斟酌して府縣道の補助費を按配した。従つて若槻内閣時代に通知した府縣道改良補助費

と著しい増減があつても、國費分配の公平を期する上から己むを得ないと説明されたが、其の説明が頭に這入つたのか否かは知らないが、私の縣は某縣に比して著しく尠いと云つて不平を漏してゐる者もあつた。併し主任官が斯様にして自分の勤めてゐる府縣の爲に利益を圖らるとつとむる心根は喜ばしいやうにも考へられた。

工事を完成するに就て思ひ出されるのは、六年度に執行した失業救済道路工事の成績である。平均三割の繰越に爲つてはゐるが、其の内譯を見ると、三重縣のやうに七割も繰越しをしてゐる向もある、此やうな調子では進工を危まれるので腕に撻をかけて働いて貰はなければならぬ、と再びの訓示を受け。

××縣、君のところは何故に此様な澤山な繰越しをやつたのか。

そろ／＼府縣別の質問が始まりました。私の縣は地元から工事費の三割を寄附せなければ工事を執行しない慣例で其の爲に手間取るのです。私のところは施工地の選擇に知

事が文句を言つて決定しなかつた。イヤーと度は決定してゐたが知事が變つて又夫れを變更しやうと言ふので遅れた。利巧なものになると、工事は立派に完成してゐるが用地の買収登記が濟まないで豫算だけを繰越したと辯明するもある、下手な連中になると、設計變更の手續が六ヶ敷ので工事は出来たが態と繰越したと言ふもあつて、設計變更の認可を受けずに工事を執行したことを自白するもある。

起債の許可に手間取つた夫れから何々……と色々の理由が陳述され、後から繰越理由を考へ出した者には、今までかゝつて考へたか、と、冷笑された連中もあつた。

起債許可の遅れた爲に進工しなかつた向が尠くない、之では一つ地方と土木局と歩調を一にして許可の促進に努めやうぢや無いかと言ふことに爲つて、起債の許可を申請したときは土木局にも其の旨を通じて協力することに爲つた。併し下手な財政計畫を樹て、許可しろうと請求したつて駄目だから府縣の地方課に智恵を授けることが先づ以て必要なことであらう。

知事が施工地を決定しない否な決定を遅らすのは、矢張り地方政黨に禍されてゐる表れだ。道路政策に立脚して決定すれば何でもないことだが、地方長官が政黨に支配されてゐるから夫れに左右されて決定を鈍らすからだ、地方政治を改革するには政黨の腐敗隨落を矯正せなければ駄目であらう。

地元寄附金問題が纏らないのは、矢張り寄附の方法を採るからであつて、任意寄附の問題が解決される程、道路工事に依る反射的利益が地元にあるならば、何故に道路法が是認してゐる受益者負擔金制度を利用しないのであらうか、筆者の奇怪に堪へないところである。

○
河川や港灣の關係に就て事務的な説明があつた。其中で新しいことは土木主事を設置する内意あることであつた、道路に關しては道路主事が置かれてゐるが、河川港灣には其の制度がない、片手落ちの感がある、夫れで新に創設するのである。土木行政進展の爲に寔に喜ぶべき考察で

あるか、主任官の何れもが夫れよりか地方事務官の配屬を希望しなかつたのは頗る物足りない感がする。實際府縣土木行政を見ると、土木課の管掌する事務中には随分法律的解釋を必要とするものが多い。是等は他課主管の事務に比較して必ずしも軽いものではない、夫れに従來より地方自治に關する方面を重要視して土木に關しては技術官たる課長をして管掌せしめてゐる。固より地方自治の事も重要であるが土地や流水に關する事柄は民衆の權義に關する法律的事件であつて、技術官の専門外に屬する事件であるに不拘、技術官に執行せしむるが故に土木行政の進展を見ないのである、筆者は此見地に於て地方事務官を配屬することに考慮するのが最も急務であると考へる。或は地方事務官が整理減員されて日淺い今日之を言ふのは、餘り世事に疏いやうであらう。併し待遇官を創設して土木行政を執行せしめなければ事務の刷新を期し得ないのが現在の事實とすれば、何も苦しんで河川や港灣費の雜費を以て土木主事を創設する姑息な手段を採る必要はない、宜敷進んで地方事

○ 務官の増員を策するのが賢明であらう。

湯澤局長は、国道直轄工事の地方移管に關し一つの私見を物語られた。国道改良工事は總て地方に執行させよと言ふ議論もあるやうだが、是は土木技術に關係する各位としては大に考慮した上で口にすべきことであると前提し、国道の特種なものを政府が直轄するに就いての法律上經濟上に於ける理由は充分論議されて直轄を是認するのであるが、夫等の理屈を抜きにして考えてみても地方に執行せしめ政府が夫れに補助するものとすれば、必ずや補助の豫算は削減されて国道改良工事の進捗を阻害することに爲るから、土木界に職を占むる人々は此大局よりして國營の是非を判断して貰ひたいと、過去五箇月間に於ける體驗から出たところを話された。寔に豫算編制上穿ち得た話で路政に關係する筆者等の頗る賛成するところである。

此話に胚胎して某縣の土木課長は、直轄工事よりも地方土木事業が増加せらるゝやうに考察して貰ひたい、と言ふ

意見を出したが、少し言葉の使ひ方が下手であつたので、国道國營論を想ふ俺の心根が判らないかとばかりに叱られたのは、温順な此會議に珍らしい光景であつた。

○ 産業振興土木事業と失業救済との關係は、若槻内閣の時代に失業救済土木事業として起興せむとした因縁があるので、今回の會議でも問題と爲つた。豫算編制の趣旨は産業を振興するに在るのは勿論であるが、之に依つて失業を防止救済する一石二鳥主義であるから工事の執行に方つては失業救済のことも考慮に容れなければならぬ、其の方法を如何にするかに就て、社會局長谷川職業課長はコー語つた。七年度の救済事業は、六大都市所在府縣と福岡縣に重きを置く方針を採つて、道路事業費の如きも其の理由を多分に斟酌して配當された筈だから是等の府縣に於ては、前年度と同じ方針に依つて失業者を救済して貰ひたい、其の他の府縣で失業狀況の著しいものは成るべく右方針に依つて呉れと言ふことであつた。此一石二鳥主義の實行は随分六

ケ敷いのであつて、失業救済に専らなるときは事業本位を没却することになり、事業本位に立つときは失業救済の實を擧げ得ないことに爲る、要は主任官の手腕に俟つのは外ないが、此兩目的の達成に近いものにしたいたものだ。併し失業者を使役するに就て苦い經驗を持つ主任官よりは色々苦情が述べられた。無理ないことであらうが、失業者を放任しておく程の平和な現代でないのは困つたものだ。

○
今回の會議は土木局當事者と主任官が指呼の間にあつて會議した勢であらうか。政治的技師も活動するの餘地が無かつたらしい。例の饒舌家一言居士も發言の機會が無かつたらしい。

湯澤局長。今日會合の主任官は餘程頭が好いと見え、餘り質問が無いネー。

××縣。局長の御説明が餘り可いので質問の餘地が無い譯で……

と言つた調子であつて、毎年問題に爲る土木部の増設や

ら主任官待遇向上の恒例問題も起らずに散會したのは、時間の經濟上得策だつた。

併し主任官が一つ喜ぶべきことは、土木部増設の問題がドーやら解決さるゝ機運に向つたことである。六大都市所在の府縣にだけ土木部を設け、内容や實質が夫れ等の府縣以上に重要な地方に土木部の設置を許さないのは慥に片手落に違ひない、それを空景氣の可い政友會内閣の手で矯正しやうとすることは筆者の頗る満足とするところである。

併しながら其の部に長たる人の選任宜敷を行なかつたならば折角の計畫も土木課の看板を土木部に書き換えたと言ふだけに終るであらう。

此會議の半ばに犬養總理が兇手に倒れ、折角産業土木事業計畫を樹て土木部の増設を立案して呉れた内閣の基礎が動搖しだしたことは筆者をして頗る心細さを痛感せしめた。如何なる内閣が成立するにしても民生の爲に計畫された此案を暗から暗に葬らないやう此會議が無意味に終らないやう祈つておく。